

教育学習支援センターの活動

「第1回 新入生懇話会」を対面で開催しました！！
2021年4月22日、東図書館3階のセミナー室で多くの新入生が集いました。

2021年4月22日、今年度初となる広島大学新入生懇話会を開催しました！

新入生懇話会とは、春から新たに広島大学の仲間となった新入生を対象に、学部や研究科を越えて交流し、親睦を深める機会として、教育学習支援センターの学生スタッフ自らが企画・開催しているイベントです。

このたびの新入生懇話会では、総合科学部、教育学部、法学部、工学部、人間社会科学研究科、統合生命科学研究科の4学部・2研究科から、総勢11名の新入生のみなさまにご参加いただきました！学生スタッフの内田圭佑（人間社会科学研究科教育科学専攻）さんによる司会進行のもと、3つのグループに分かれ、和気あいあいと楽しい時間を過ごしました。

具体的には、自己紹介の中に一つだけウソを混ぜて当て合う「ウソ・ホントゲーム」

や、西条のおすすめのごはん屋さんを紹介し合う「テーマトーク」などで親睦を深めました。

広島県においても緊急事態宣言が発出され、広島大学の授業も原則オンラインへと移行したことで、学生間の交流機会が減っているのではないかと考えられます。教育学習支援センターでは引き続き、新型コロナウイルスの感染予防対策を徹底したうえで、新入生をはじめ、より多くの広大生が華やかに充実した学生生活を送れるよう、様々なイベントを企画してまいります！ぜひ今後の動向にご注目ください！！

【学生スタッフ：川本吉太郎】

♪ 懇話会のひとコマ ♪



広島大学
新入生懇話会

日時
4/22(木) 16:30~17:30
※新型コロナウイルスの感染状況によって中止する場合があります。

場所
広島大学 東図書館 3階 セミナー室D

定員
30名程度 (先着順)
※マスクの着用、手指の消毒、身体的距離の確保等の感染防止対策を講じた上で実施いたします。

新入生懇話会は、新入生のための交流場！
◎ 新入生ならどなたでも参加可能
◎ 人間関係の輪を広げる
◎ 学習・生活の悩みを相談
◎ 大学周辺の情報収集
だれに聞けばいいかわからない疑問も、大学院生の学生スタッフに聞いてみよう！

4/23(金)にはピアサポートルーム主催の、「大学院生新入生交流会」をオンラインで開催します！対象はM1・D1・特別支援教育特別専攻科です。
詳しくは、ピアサポートルームのホームページをチェック！
URL: <https://peer.hiroshima-u.ac.jp/news.html>

参加方法
右のQRコードからアクセス
※切: 4/20(火)まで

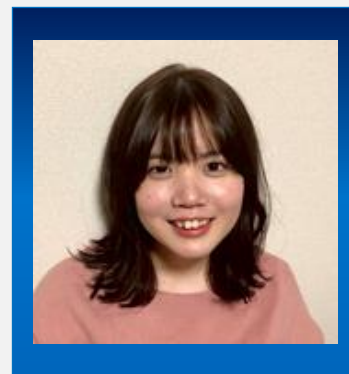
連絡先
教育学習支援センター
082-424-4429
capr@office.hiroshima-u.ac.jp

学生スタッフのメンバー紹介

- 氏名：片山 春菜（カタヤマ ハルナ）
- 所属：先進理工系科学研究科 理工学融合プログラム
- 専門分野・研究領域：物理学、量子力学分野

●なぜ広島大学を選びましたか？

私は、高校生までに将来自分が何になりたいのか分からず、悩んでいました。そんなときに総合科学部を見つけました。1年間、様々な学問を学んだあと、2年生で専門領域を決めることができる総合科学部がとても魅力的に思えました。様々な授業を受講し、自分が物理に興味があることに気づきました。より深く学びたいという気持ちが芽生え、大学院に進学することを決意しました。学生スタッフとして、皆さんの広大での生活をサポートできるように頑張ります。



- 氏名：玉素甫 艾沙（イスフ アイサ）
- 所属：総合科学研究科 21世紀科学プロジェクト群
- 専門分野・研究領域：地域文明と言語研究

●なぜ広島大学を選びましたか？

「学問は最高の遊び！」という言葉は広大の校訓から見た、先生から得た最高の学術精神だと日々実感していたことです。「心に平和」を中心に、宮島の伝統的な行事、日本一の瀬戸内レモンと風景、美味しいお好みやきとカキ、カッキがあふれる体育と芸術文化など様々な魅力を感じられるところであり、そして毎年広島で開催され様々な国際イベント（私の場合はKWC Hatsukaichi）までも楽しめます。伝統文化と国際文化を持つ広島・広大と伴う、このような研究者になりたいことです。

- 氏名：永野 隆童（ナガノ リュウドウ）
- 所属：人間社会科学研究科 人文社会科学専攻人文学プログラム
- 専門分野・研究領域：言語学、統語論、生成文法

●なぜ広島大学を選びましたか？

まず言語学という研究室が独立してある大学は全国でも数少なく、広島大学はその数少ない1つであること、その中でも興味があった生成文法を専門にしている教授がいたことが決め手の1つとなりました。また私は教員を目指しているので、教員養成に関しても全国的に有名な広島大学は非常に魅力的だと感じました。また実際に来てみて、大学内で自然が感じられ、論文などで行き詰まった時にリフレッシュするにはとても良い環境です。



- 氏名：山本 真治（ヤマモト シンジ）
- 所属：先進理工系科学研究科 数学プログラム
- 専門分野・研究領域：数学、偏微分方程式論

●なぜ広島大学を選びましたか？

高校生の頃は将来を真剣に考えてはいなくて、先生のアドバイスに従って来ました。ただ、私は田舎で過ごすのが向いていると思うので、当時の選択は悪くなかったと思います。

研究も就活も想像以上に厳しいので、だいたいの方は学生生活のどこかで苦勞するはずですよ。早いうちに苦勞するべきだと思うので、ぜひ学生プラザなどで大学からの資源を受けてみてください。特に意志がなくてもおしゃべりが良いきっかけになるかもしれないので、よかったら学生プラザ1階の窓口へどうぞ。



学生スタッフによるオリジナル・コラム(連載)

おすすめの本 『問いのたてかた』(筑摩書房)

皆さん、「問い」を立てていますか？「問い」って聞くと何か試験のような仰々しい気がしますね。しかし、実はかなり身近なものです。例えば、「晩ごはん何食べよう？」も立派な「問い」です。さらに、

◆レポートを書くときには、レポートの主題を「問い」と呼ぶことがあります。

◆研究では、「リサーチ・クエスチョン」と呼ばれる「研究で解決したい問い」をよく考えます。

◆就職したら、「利益を上げるにはどうしたらいいか？」という問いを考えるかもしれません。

このように、「問い」とは人生で様々に見かける、避けては通れない道であり友なのです。そのような「問い」との向き合い方（使い方・ハウツーではない！）を本書は教えてくれます。じっくりと、時には禅の思想などを用いながら「問い」とは何か？を一緒に考えてくれるのです。

正直なことを言えば、本書は難しいです。題材の「問い」からして非常に難しい。そのため、「わかる→わからない」の繰り返しもしばしば起こり、読み進めるのは大変かもしれません。でも、せっかくの夏休みのまとまった時間、そんな難しい本をじっくりと読むのも素敵だと思いますよ？

【学生スタッフ：梶浦大起】

≡ 広島大学で野菜を育てる授業

なんと！広島大学には単位の縛りがなく、野菜を育てて自宅に持ち帰ることができる伝説の授業があります！

いわく、その授業は珍しい品種の野菜と巡り合わせる。

いわく、「もみじ」の履修登録で見つからず、掲示で少人数を募集している。その正体は、「植物栽培入門講座」という授業でござる。

毎年春、秋の二つのコースがあり、「もみじ」の掲示で学生を募集しています。それぞれ季節に合わせて先生が精選してくれた品種の野菜を作ります。春コースは幻のトマト、極甘いとうもろこし、つまみの王者——枝豆など、一夏を楽しめる野菜が満載！秋コースにはカブ（生でもうまい）、ほうれん草、しゅんきくなど鍋に最適な野菜が彩り！秋コースの中盤だと、たくあんの達人が授業に登場して、自分が作った大根でたくあんを作る機会もあります。

実際に履修して、一番楽しかったのは、農用機械の操り方を学びながら、自分の担当区画にいる野菜たちの成長を見守ることです。実体験を通して、生命は一体何なのかを考えさせる貴重な機会でした。

研究や勉強で疲れた日々の中に、生命力が漲っている野菜のように実りたいと、私はつくづく思いました。



【学生スタッフ：康凱翔】

【編集後記】

お待ちいたしました、第3号をお届けします！学生スタッフ自身による原稿が集まり、とても読み応えのある盛りだくさんの内容になっています！！これから夏季休業期間に入りますが、広大生の皆さんにとって充実したキャンパスライフとなることを願っています。（センター教員：蝶 慎一）

【問い合わせ先】

広島大学 教育学習支援センター
(学生プラザ)

【連絡先】

Email: capr@hiroshima-u.ac.jp